

# 平成 22 年度 第 2 回 掛川総合スポーツクラブ推進委員会 議事録

平成 23 年 1 月 26 日 (水)  
開会 19:30～  
総合体育館さんりーな 研修室

## \*出席者\*

栗原貞秋 (NPO 法人掛川市体育協会会長)、  
小林弘壽 (会員代表)、宇山久美子 (会員代表)、山本芳英 (会員代表)、  
浅場直樹 (会員代表)、鈴木秀子 (指導者の会)、松浦岩男 (掛川ソフトボール連盟)、  
鈴木正治 (スポーツ少年団副本部長)、今駒敏雄 (社会教育課スポーツ振興係長)、  
山田光宏 (保健予防課保健企画係長)、鈴木哲之 (高齢者支援課高齢者政策係長)、  
戸塚美樹 (商工労働観光課商工労政係長)、松井洋治 (社会福祉協議会総務部門主任)、  
松浦金作 (NPO 法人掛川市体育協会副会長兼専務理事)、  
板垣晶行 (掛スポゼネラルマネージャー)、小池正浩 (掛スポサブマネージャー)、  
中原信義 (事業課課長)、松浦圭吾 (掛スポ事務局)、森川歩美 (掛スポ事務局)

## \*欠席者\*

大森孝太郎 (掛川銃剣道連盟)、鈴木俊彦 (掛川市体育指導委員会会長)、  
中村泰久 (スポーツ少年団事務局長)、三浦茂 (掛川市 B&G 指導員会会長)、  
松浦伸弥 (生涯学習まちづくり課まちづくり係長)、安藤彰 (農林課農政係長)、  
深谷富彦 (福祉課社会福祉係長)、山下真弘 (掛川市商工会議所課長)、  
赤堀博 (原野小学校校長)、野口安男 (西中学校校長)、  
岡部弘 (NPO 法人掛川市体育協会競技技術委員長)

## 1 開会のことば

### 2 あいさつ

栗原(体協会長)

日頃は掛川総合スポーツクラブの活動にご支援ご協力頂き、  
ありがとうございます。

現在当スポーツクラブでは、23 年度の事業について準備を  
進めている。今日は今年度の活動の成果と反省、また来年度  
の事業計画を皆さんにお話したいと思う。

皆さんには、今後も当スポーツクラブの運営の手助け、ご協  
力を頂きたい。

### 3 報告事項

#### 1) 平成 22 年度 掛スポ活動報告について

小池 (掛スポサブマネージャー) ※P1 に基づき報告

#### 2) 平成 23 年度 掛スポ事業方針と事業計画について

小池 (掛スポサブマネージャー) ※新パンフレット P1～P9 に基づき報告

#### 3) 野外活動積立について

中原 (事業課課長)

体協として 2 月に初めてスキーツアーを実施する。今後も  
年間を通じて今回のスキーツアーのような「野外活動」を  
企画運営していく予定だが、このような活動は一度に多額  
の費用が必要となる為、毎月一定額を積み立てることで、  
希望の野外活動参加への費用に充てたいと考えている。積  
立制度は希望者のみ。

#### 4) 年会費改定の補足説明

板垣 (掛スポセネラルマネージャー)

掛スポの活動も7年目を向えることになり、現在の制度や会費を見直した結果、来年度より年会費を1,000円から2,000円に値上げすることとした。この値上げ分の会費は、掛スポ登録指導者のスキルアップ向上の為に講習会参加費用や教室備品の補充、消耗品費に充てる他、来年度新設する「エコボラクラブ」の活動費用や環境保全のための費用として活用していく。これにより掛川大家族構想をより具体的にし、より魅力的な教室の開催や会員満足度を向上させていきたい。

#### 4 質疑応答

小林 (会員代表)

来年度のスクール会員のサークルや交流プログラムへの参加方法について、先日の説明が曖昧だったので、実際にはどうなるのか。

小池 (掛スポサブマネージャー)

来年度より、スクール会員がサークルに参加する場合は、別途参加料をいただくことになった。月会費1,050円か参加料525円を毎回払って頂くかの2パターンを選択してもらう。

宇山 (会員代表)

託児の受入れ可能数は増えたか。クラシックバレエに通う方で、断られることがあるようだ。

鈴木 (指導者の会)

マイレフラの教室では、以前託児を受け入れてもらえなかった方がいたが、現在は入れてもらっている。配慮していただいている、ありがたいと思う。

松浦 (掛スポ事務局)

託児はどの時間、どの教室が人気があるかを現状把握し改善していきたい。

浅場 (会員代表)

現在スクール会員ならサークルは1種目無料で参加できていたが、来年度からはスクール会員は別途サークル参加料がかかり、気軽に行けなくなる。

小池 (掛スポサブマネージャー)

サークルの根本的な考え方として、元々経験者でゲームを楽しみたい方にサークルをお勧めしている。また、教室である程度の技術を習得し、指導が不要になったスクール会員の方のステップアップの受け皿としてサークルを設けていることもあり、従来のようにスクール会員が無料でサークルにも参加できるというシステムを改善することとした。逆にサークル会員の月会費は来年度より1,575円を1,050円に値下げをし、より参加し易くした。

松浦 (掛川ソフトボール連盟)

年会費の用途について、指導者の資格取得費用というところの程度までか。

小池 (掛スポサブマネージャー)

指導者として底辺の資格となる日本体育協会認定スポーツリーダーの資格取得に必要な講習会の開催などでの使用を考えている。

- 鈴木（指導者の会） 現在マイレフラの教室に通っている方に、継続の案内、サークルの案内があった。スクール会員の方がサークル会員に変更したら月会費が安くなるということだが、会員の方からそのような会費で講師料は出るのか？など疑問が上っていた。会員の方は掛スポの考え方など内容が理解できていないのではないかと思います。
- 小池（掛スポサブマネージャー） 案内を再度徹底していきたい。
- 鈴木（スポ少副本部長） 「いーさ」の循環状況を教えてほしい。  
野外活動積立に「いーさ」が使えるようになれば良いかと思う。
- 板垣（掛スポゼネラルマネージャー） 昨年の新茶マラソンのボランティアより「いーさ」発行がスタートし、主に活動ボランティアのお礼として発行されている。現在約200万「いーさ」が発行されており、利用状況について協力店にアンケート調査を行なった結果、5%程度の利用である。今後の課題は、「いーさ」の利用促進と協力店が回収した「いーさ」をどう使うか考えていきたい。
- 今駒（社会教育課） 掛スポ参加者としての親睦大会、各種競技大会への参加実績等はあるか。また、教室が嫌になって辞めていく人はいるか。
- 小池（掛スポサブマネージャー） 掛スポ内では、毎年3月に1年の成果発表の場として「掛スポフェスタ」を開催している。その他、各教室で発表会や親睦大会などを行なっている。  
その他大会等への参加実績としては、ジュニアソフトボール教室の参加者で日本代表に選ばれる選手や、ジュニアバレーボールでは県選抜に選ばれる選手、トランポリンでも教室出身者が競技選手になるなど、各教室で競技力向上としての成果も上げている。  
教室の退会理由としては、退会手続き時に退会理由を伺っているが、時間の都合や引越し等やむを得ない理由により退会される方が大半で、嫌になって辞めるという事例はほとんど無いと認識している。
- 山田（保健予防課） 昨年11月4日に世界糖尿病デーとして、ウォーキング大会と予防教室が体育協会との共催で開催された。間近に決まったイベントであったが、たくさんの参加者が集まった。23年度もしっかり計画をして実施したい。
- 鈴木（高齢者支援課） 現在掛スポとの接点はあまりないが、今後は介護予防、食事を配給する事業等も増えてくるので、お互い協力して推進していければと思う。  
登録指導者の中で、AEDの指導のできる方や栄養士の方はいるのか。また、そのような方がいれば派遣してもらようなことは可能か。
- 小池（掛スポサブマネージャー） AEDの指導については、毎年登録指導者向けに赤十字の方や消防の方において講習会を開いている。現状はA

EDの講習ができる指導者までは登録されていないが、掛スポのスタッフが指導員としての講習を受講済みなので外部指導ができるようにはなっている。  
管理栄養士の資格をもった方は登録していただいている。  
登録指導者の派遣も実施している。

- 戸塚（商工労働観光課） 会員数の中で、クラブ会員数が前年度より減っている理由を教えてほしい。また、お話の中で会員数は近年は横ばいの状態だということであったが、そのような中で会員数増を目指す上で23年度の事業としてはどんなものがあるか。
- 小池（掛スポサブマネージャー） クラブ会員数減の理由は、以前はインディアカクラブというクラブがあったのだが、そちらがなくなった為にクラブ会員数が減少した。
- 中原（事業課課長） 来年度は新プログラムをいくつか新設し、新たな種目や受け皿を増やしたので、会員数増に繋げたい。
- 松井（社会福祉協議会） ボランティアの方と連携を取り、スポーツを通じ障害者と健常者の関わりを持っていきたいと考えている。現在も障害者のトランポリン大会を開催したり、形となって実施しているものもあるが、障害者や小さな子ども達(乳幼児、幼児)へ向けたスポーツの良いアイデアがあれば教えてほしい。今回の推進委員会のような会議や大会なども、福祉関係を広める場として活用させてもらいたい。
- 松浦（体協副会長兼専務） 23年度は体育協会が変わっていくために大事な1年になる。50年前に制定されたスポーツ振興法も様々な観点で見直される時期にきている。また、学校スポーツを考えてみても、遊びを交えながら誰でも楽しく親しめるような環境づくりが求められたりという中で、体育協会としても23年度は今後に向けての準備の時期に入る。学校や地域に指導者を派遣したりしながら、地域と一体となってスポーツ環境を整えていきたい。
- 栗原（体協会長） 現在の掛スポ登録指導者のみなさんは、それぞれの種目の技術的な面ではエキスパートであることは間違いない。体育協会としては、そういった技術面だけでなく「体力」・「食育」・「徳育」といった部分も知識として持ち合わせた指導者の確保に力を入れていきたい。今後体協が設立を目指している指導者バンクにおいても、そのような指導者が登録されている組織にしていきたい。そのためにも、講習会開催費用等に会員のみなさんの年会費を活用できればと考えている。ぜひ、指導者のみなさんには「体力」・「食育」・「徳育」を養い、より多くの方にスポーツを通して様々なことを伝えていってほしいと思っている。

## 5 閉会のことば

以上  
文責／森川